

208
146

国立国会図書館 躰獨稽古 208-146



ガラス使用

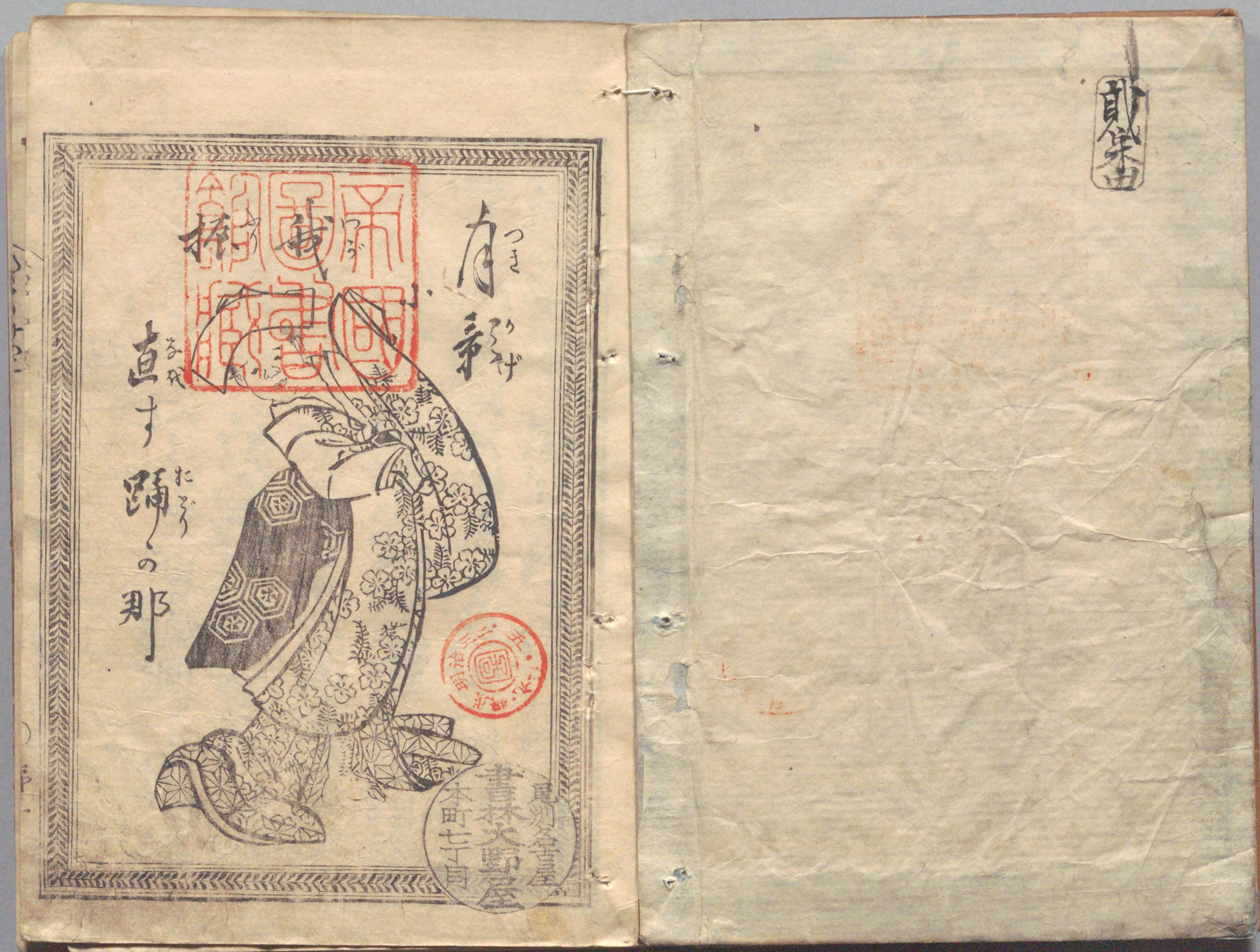
踊独稽古

全

如
下

208
146

尾川益屋
三月



歌集

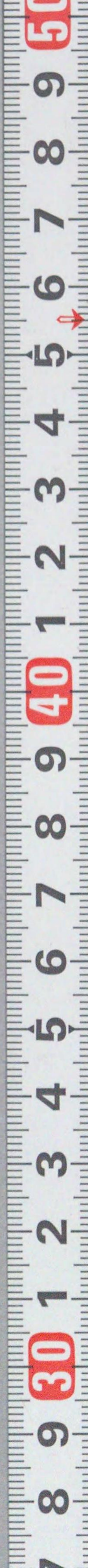
新編
古今和歌集

月
新

直す
踊の
那

明治
五
年
五月
二十
日

尾
瀬
文
庫
本
町
七
丁
目





序

吳住後漢の注は字を曰が煥相する狂勢客が
 之引るは未も。隻尾琴と作ては美音家初
 の葉岡も瓜を嚙文志傳の漢語を旅館乃
 牙井ら貪と燭巾の笛製る最異聲
 中して使美涎尻伝去。腹の道を知。蛇山は
 主人着飾の癡光る子を借く躍の手續を

寫し足は墨土を添へ進退手足は乃伸
 偶を示ると観客の好して盡る業は熟達
 とて。且重所は人物は生動自踊がとれ筆
 拙子。マツトニおると近來滑稽は小冊なるん
 と看伎の後より多く。答は本あると。

乙亥の夏

七代目 芝井 述



ANNA 105

11-11

新編 踊独稽古

（左一）

叙

近路を歩み人指原と連行年久
別名帝の及る昔蹟の字を知しむ川
と等ぐ本尺に上録とまて牒肉と
海を社会利次ぐの地との
あふを謡と踊獨稽古中
師に影を踏と教ふ躡る故人の手

ひきくひきく
形影庵中
如く奇也如く
教乃醉空際藏火を

言
初陽

書
書

秀
佳誌

（右一）

（右二）

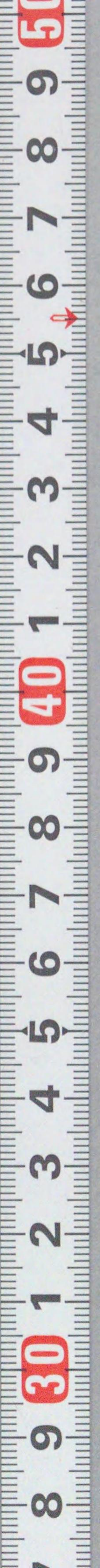






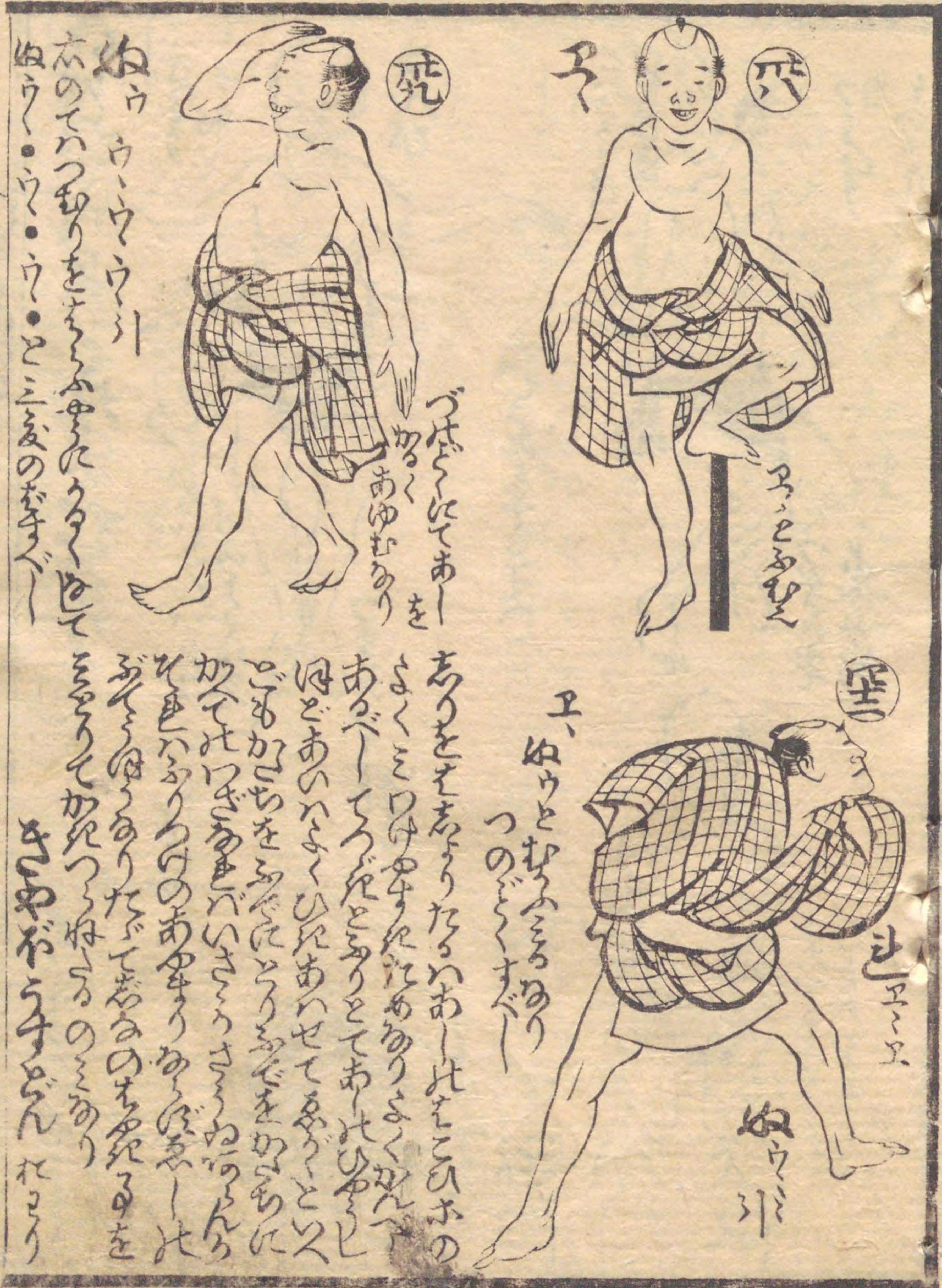












ぬう う・う・う・う
 木のていつちりをもとふかやのうろくして
 ぬう・う・う・う・う・う・う・う・う・う・う・う

ありをさあうりたるわあーれをこのホの
 なくその口はやうれたあありまゝかた
 ああーてうだとあうとてあはひや
 ほどあひなくひたあひせてあうと
 どもかちをふたはとらあをわあに
 かてはつああはひとらうとらわあに
 せあうりあうりのあやうあああーれ
 ぶくあうりたてああのをあるを
 とうりてあはつらあうりのああり
 きわがらうらあんれらう

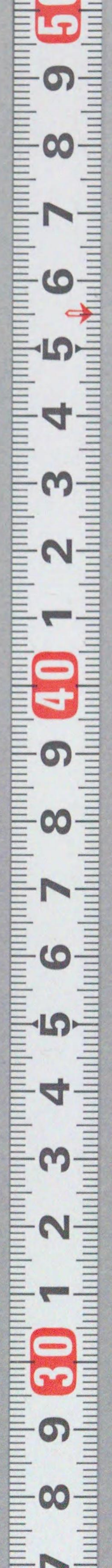


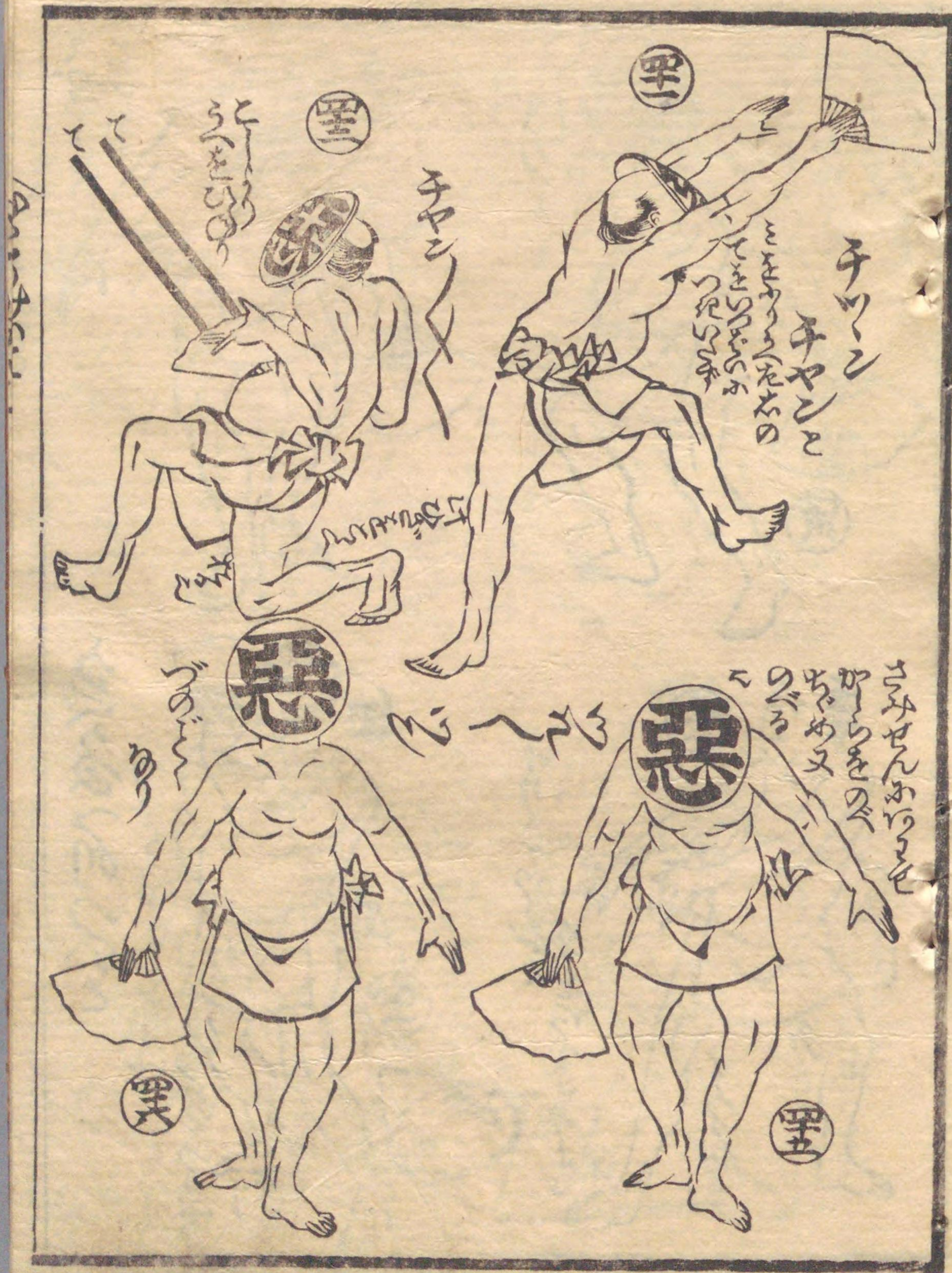
志 (シ)
 志 (シ)
 志 (シ)
 志 (シ)

志 (シ)
 志 (シ)
 志 (シ)
 志 (シ)











Handwritten text in a cursive script, likely a form of Kuzushiji, arranged in vertical columns on the left page of the manuscript.

Handwritten text in a cursive script, likely a form of Kuzushiji, arranged in vertical columns on the right page of the manuscript.

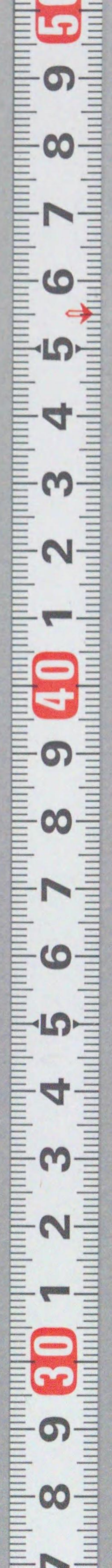




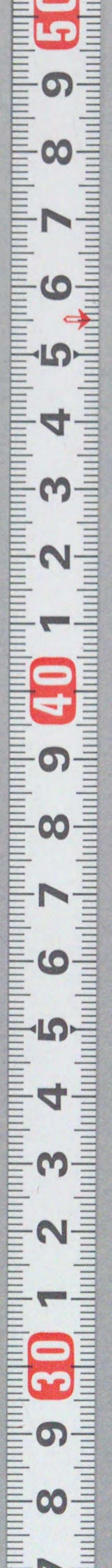


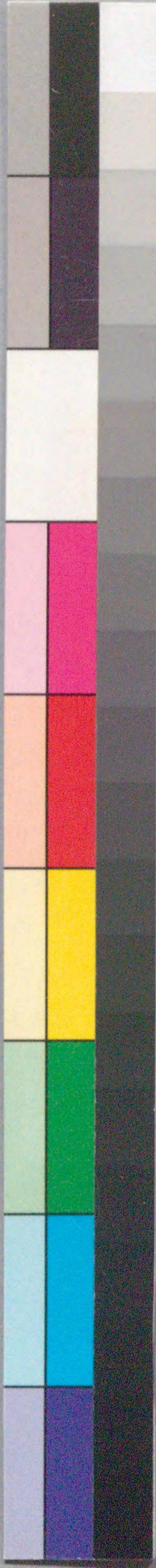




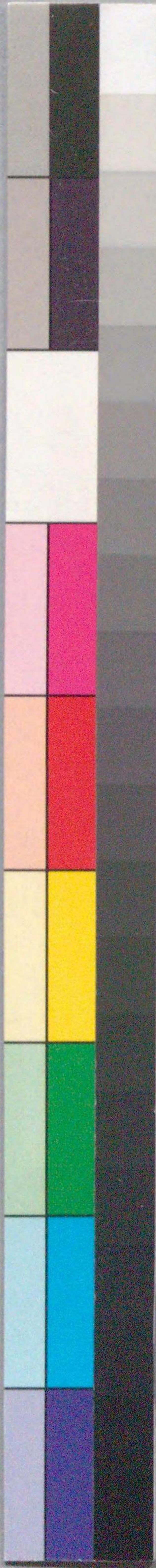












かみ

あはれをうけしはなれはなれ
あはれをうけしはなれはなれ
あはれをうけしはなれはなれ
あはれをうけしはなれはなれ
あはれをうけしはなれはなれ
あはれをうけしはなれはなれ
あはれをうけしはなれはなれ
あはれをうけしはなれはなれ
あはれをうけしはなれはなれ
あはれをうけしはなれはなれ

かみ

あはれをうけしはなれはなれ
あはれをうけしはなれはなれ
あはれをうけしはなれはなれ
あはれをうけしはなれはなれ
あはれをうけしはなれはなれ
あはれをうけしはなれはなれ
あはれをうけしはなれはなれ
あはれをうけしはなれはなれ
あはれをうけしはなれはなれ
あはれをうけしはなれはなれ

あはれをうけしはなれはなれ
あはれをうけしはなれはなれ
あはれをうけしはなれはなれ
あはれをうけしはなれはなれ
あはれをうけしはなれはなれ
あはれをうけしはなれはなれ
あはれをうけしはなれはなれ
あはれをうけしはなれはなれ
あはれをうけしはなれはなれ
あはれをうけしはなれはなれ

かみ



葛飾北齋画編
 藤間新三郎補正

文化十二年歲次乙亥夏發市

後編 嗣刻

江戸書鋪 雙鶴堂
 鶴屋金助版

元六

江戸書林雙鶴堂藏版略目錄 人形町通 錦繪屋鶴屋金助

梅花水烈 三冊 山東京傳作
 歌川豊国画

松浦佐用媛石魂録 三冊 馬琴作
 歌川豊国画

同後編 當年出版 同 作

阿古義物語 五冊 式亭三馬作
 歌川豊国画

道中膝栗毛 十返舎一九作
 金平作

道中膝栗毛 十返舎一九作
 金平作

三千世界樂屋探 三冊 式亭三馬作
 歌川豊国画

忠臣藏偏癡氣論 一冊 哥川直作
 同

田舎芝居忠臣藏 四冊 同
 同

狂言田舎操 二冊 同
 同

四十八癖 初編 同
 同

四十八癖 二編 同
 同

208
146

六のむし請合五冊 十返舎一九作
北川月磨画
江戸の島土産合五冊 同
作

指合輕口噺 全二冊 同
作

同 福縁草子 一冊 同
作

同 汐次お口 一冊 同
作

踊獨稽古 初編 同
後編 並刻のてきまじり

略画早指南 初編 前北齋
二編 三編 昔飾戴斗画

人間萬世慶誕計一式 亭三馬作
當寅年後編 三編 四編 並知後

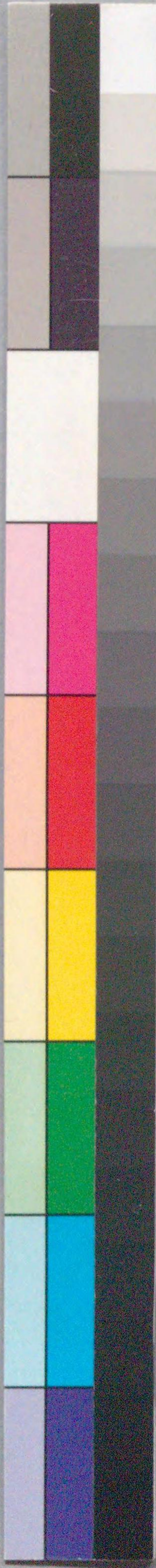
画本早引 初編 葛飾
戴斗画

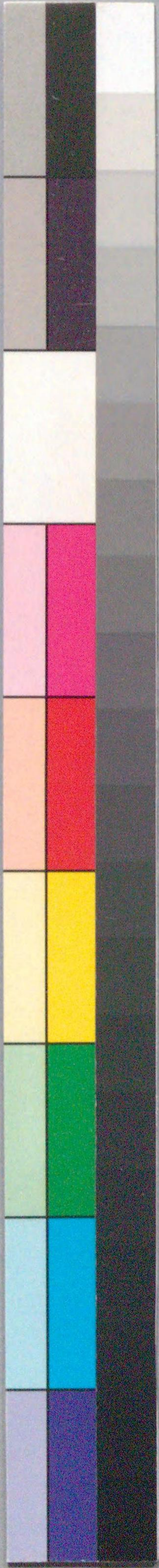
精製艶布巾 深川隠士 霞月家製
料 三十五文

尾陽桐間堂製
懷中合羽代 表 同柄袋 代 表 友
懷宝弁當袋 代 四十八文

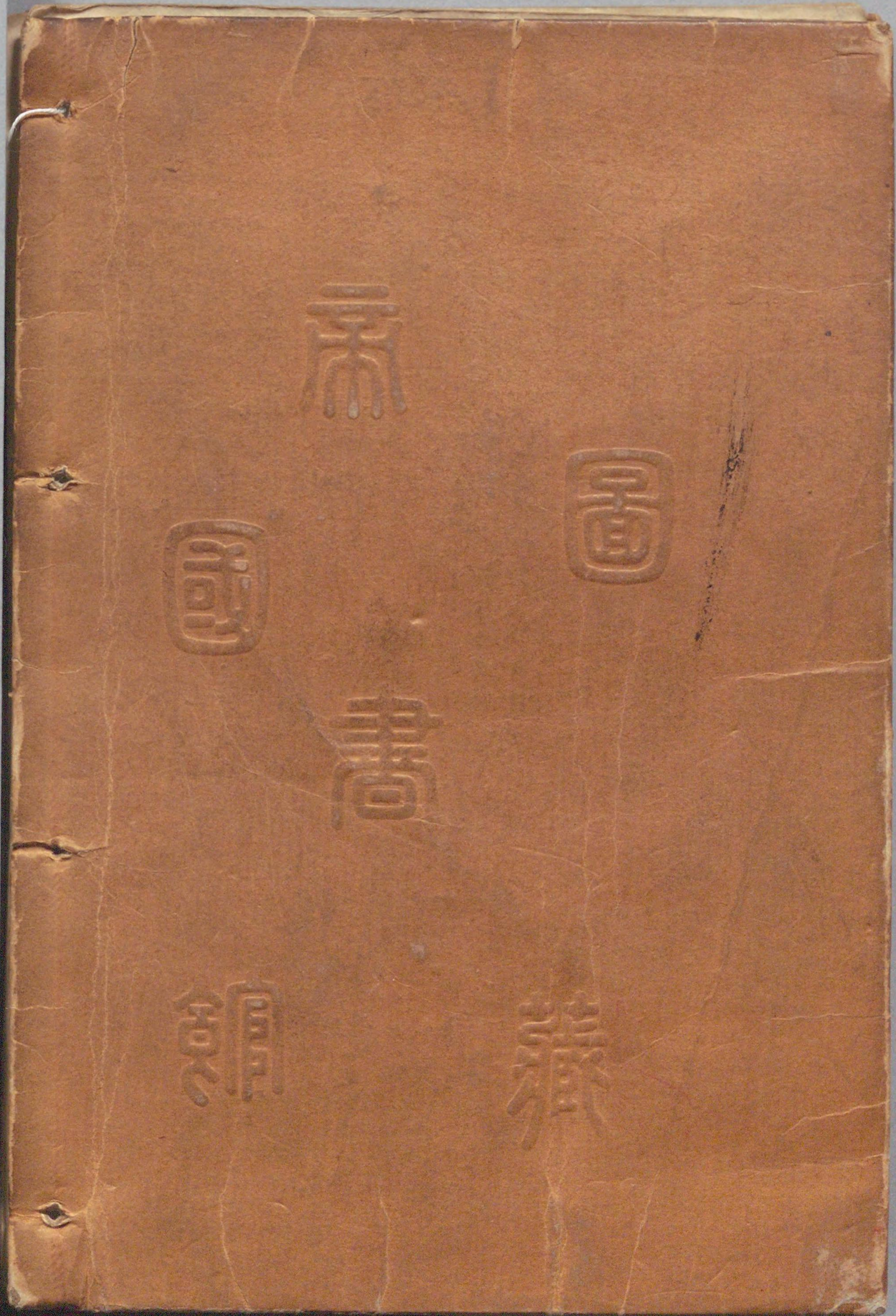
208
146

古今圖書集成
考索典
十返舎一九作
又間萬夏慶誕計
冊一
哥式
川亭
国三
直馬
画作





国立国会図書館 踊独稽古 208-146



ガラス使用

